

えが'お



よりよい嘉麻市を
つくっていくために!
協議体についての
勉強会を5区域で開催!



協議体についての勉強会 ～地域の資源をまとめよう～

平成28年8月5日（金）、第5回目の協議体についての勉強会を開催しました。今回は地区ごとに会場を分け、「地域の資源をまとめよう」をテーマに、これまでの勉強会で出し合った歴史や自然、伝統行事などのいいところを振り返り、各地区の社会資源である公共施設やお店、医療・福祉施設、交通機関などをみなさんで出し合ったことで、地区毎の課題や困りごとも見えてきました。

次回は、地域資源を地図にまとめていきますので、ぜひ、勉強会にご参加下さい。

稲築西地区

- ・市道でも私道でもない道の草刈りができず、どうしていいかわからない
- ・路上の不法駐車が多く困っている

稲築東地区

- ・地域の清掃活動に参加する人が減ってきている
- ・みんなで支え合うことへの意識が年々低くなっている

碓井地区

- ・ごみの収集場までが遠く、ごみ出しに困っている
- ・福祉バスや市バスの時間が買い物の時間と合わず、買い物がつくりにくい

山田地区

- ・病院の受診に遠くまで行かなければならない
- ・災害時に避難所まで行くことができるか心配

嘉穂地区

- ・所有者と全く連絡がとれない空き家のことで困っている
- ・サロンなどの集まりの場に行くための交通手段がない

10月7日（金）地区会「地域資源マップを検証してみよう」

- 【稲築地区】 時間10：00～12：00 会場：稲築保健センター
 【碓井地区】 時間13：30～15：30 会場：碓井地区公民館
 【山田地区】 時間13：30～15：30 会場：山田生涯学習館
 【嘉穂地区】 時間10：00～12：00 会場：夢サイトかほ

11月7日（月）全体会「新しい社会資源をつくるために必要なことを考えよう」

- 時間：13：30～15：30
 会場：稲築地区公民館

嘉麻市認知症家族の会

平成28年7月23日（土）、山田ふれあいハウスにて第一回認知症家族の集いを行いました。

ご家族の方だけでなく、ご家族を支えてくださる支援者の方々も参加され、認知症に関する意見交換をしました。

その後は、ご家族の方だけで交流会を行い、これから家族会として、集いを月に一度開催していくことや活動内容、ルールを左記のとおり決めました。

《目的》

認知症の方を介護しているご家族等が集まり、お互いの体験や情報交換をし、様々な問題解決のために励ましあう会とする。

《活動内容》

①会員が集い、日ごろ言えない苦しみや悩みを打ち明け、介護に関する意

見を交換する交流会を開催する。

②認知症の理解や福祉制度などについての学習会を開催する。

《ルール》

①この会で話し合った個人情報はお外ししない。

②立場や状況は人それぞれなので、各人の話の内容は否定しない。

③みんなで協力しあって活動する。

まだ始まったばかりです。これからみなさんと一緒に悩みながらやっていくことも決まりました。

次回開催日

平成28年9月24日（土）
 時間 13時30分～

場所 山田ふれあいハウス
 問い合わせ先

嘉麻市社会福祉協議会
 ☎0948・42・0751

県境を越えた被災地支援の取り組み

平成28年7月31日、大分県竹田市で開催された、「新しい地域ささえ愛フォーラムin竹田」に参加しました。

第1部は、公益財団法人さわやか福祉財団会長の堀田力さんによる、「助け合いを広める鍵と方策」と題した基調講演の後に、行政区ごとに開催されている「よっちはなそう会」や、地域づくりの拠点となる「暮らしのサポートセンター」が紹介され、地域の皆さんと一緒に行う地域づくりについて学びました。

第2部は、竹田市社会福祉協議会の水野匡也さんが、南阿蘇ボランティアベースキャンプの活動を通して広がった支え合いについて話されました。大水害を経験した竹田市だからこそ、被災された方の気持ちに寄り添う住民意識が、ベースキャンプを支える仕組みにつながったことや無料宿泊所を利用するボランティアのコミュニケーションが、一つのことなどが紹介さ

れました。

その後、実践活動報告として、ベースキャンプで活動した荻保育園の園長 倉原準一さんは、ボランティアさんが気持ちよく活動できるようにスタンプが一丸となつて心がけられたことや一時間毎の道のりを3か月間毎日マイクロバスの運転手として参加されただけでなく、現地のボランティアとしても作業に従事されたスタッフがおられたことを話されました。また、倉原さんは、病気のため16歳で亡くな



られた息子さんが病室で書かれたという詩を紹介されました。「本当の親切とは、人に知られなくても、みんなに心から喜んでもらうことなんだ。何の見返りも求めないことが本当の親切なんだ」とこの言葉をいつも胸にとどめておられるそうので、言葉に詰まりながらのお話に会場からはすすり泣く声が聞かれました。

本会事務局長の木山は、竹田ベースキャンプの後方支援について報告しました。ベースキャンプ方式が周知されていない中始まった本会の活動は、30%を超える竹田ベースキャンプのボランティアさんの活動実績とともに、存在価値が高まってきたこと。南阿蘇では、6月20日の大雨により、新たに水害のニーズが発生していることを話しました。

みなさんのお話を聞き、いろいろな方と協力する支えあいの仕組みづくりを、学ぶことができました。

学びを深め 地域のために

「第3期市民後見人養成フォーラアップ講座」

今年度で3期目となる市民後見人養成フォーラアップ講座を6月8日から9日のカリキュラムで開催しました。

この講座は、市民後見人養成講座基礎編を修了した方を対象に、更に学びを深めることを目的に開催したもので、9名の方が受講しました。

講座の中では「支援とは何か」、「自己実現、自己決定とは何か」ということについて、もう一度しっかりと捉えなおしました。また関連する法律や援助のための具体的な記録の方法など後見活動を行ううえでとても大切な考え方を学びました。

また、特定非営利活動法人ハートフルボイス、障害者支援施設三愛園、特別養



最終日のグループワークの様子



村上会長より修了証をお渡ししました

護老人ホーム第二稲穂園で実習し、各施設等での権利擁護に関する取り組みの現状を把握するとともに、利用されている方々とコミュニケーションを図りました。

実習後には、本会が実施する地域福祉権利擁護事業について、誰も排除されないまちづくりを進めていく取り組みが必要であること、最後の講座では、2つのグループワークを通して価値観は人それぞれであること、また自分がどのような価値観を持っているかを知っておくことが大切であることを学びました。

今後、修了された皆さんとのつながりを大切に、支えあいのまちづくり、誰も排除されないまちづくりを進めていきたいと思ひます。

フリースペースは

自由な居場所

7月28日(木)、かまひきこもり相談支援センターのフリースペース活動の中で、障がい者支援施設清浄学園を見学しました。その後、施設内に設置されているカラオケルームを貸していただき、参加者のみなさんでカラオケを楽しみました。ひきこもりの娘さんを持つAさんからは「歌を聴くのが楽しかった」といった感想や、長年外へ出ることが難しかったBさんからは「久しぶりに歌った」といった声が聞かれ、みなさん笑顔で過ごされました。

フリースペースでの外出は初めてでしたが、みなさんの希望を聞きながら、定期的にこのような活動を取り入れていこうと思っています。

一本外へ出て、自由に過ごせる居場所に来てみませんか？



今月のえがお

最近えがおになった出来事を教えてください！



初井チトセさん

今年、99歳最後の日に長谷山に登りきることができ、100歳を迎えました。みなさんにお祝いしてもらい、笑顔になりました。

100歳になってもう1回長谷山登山をすることができて嬉しかったです。いつまでも元気でいられるように、これからいろいろなところに出かけたいと思います。

今月のブログ

本会では、日々の活動を紹介したり、いろいろな福祉情報を素早くお届けしたいという思いから、ホームページで、日記『嘉麻市社協のブログ』を書いています。そこから抜粋してきた記事をご紹介します。

<http://kamasyakyo.chobi.net/worldpress/>

2016年8月3日(水)

今日は、稲築住民センター2階会議室で、平成28年度第1回コミュニケーション研修会を開催し、4社協8名が参加しました。

まず自己紹介をし、それから新地域支援事業についての意見交換を行いました。それぞれの社協の進捗状況を報告し、協議体の進め方や行っている勉強会についてお互いに質問し合いました。

その後、ICFの考え方を取り入れた事例検討会を行いました。健康状態、心身機能・身体構造、活動、参加、環境因子、個人因子は何なのかを一つひとつグループで話し合いました。



それらを考えていく中で、本人の夢や目標と、何をどうつなげられるかというところが少し見えてきて、プラス思考の支援や関わり方をみんなでも共有することができました。

今後このICFの視点で、事例や相談を考えていきたいと思いました。

かま権利擁護センターからのご案内

かま権利擁護センターでは、高齢者や障がいをもつ方の権利を擁護することを目的に、次のようなお手伝いを行っています。

地域福祉権利擁護事業・ 日常生活自立支援事業

サービスの内容は・・・

- 金銭管理サービス…毎日の暮らしに欠かせないお金の出し入れをお手伝いします
- 生活支援サービス…福祉サービスを安心して利用できるようにお手伝いします
- 財産保管サービス…大切な通帳や証書などを本会が契約する金融機関の貸金庫でお預かりします

対象者は・・・

- 日常生活における金銭管理や福祉サービスの利用等にお困りの方で、この事業を利用する意思があり、必要な契約内容について理解できる方が対象となります。
- (施設や病院に入所、入院された場合でもご利用できます)

ご連絡いただければ、権利擁護センターの職員が、自宅や施設、病院などを訪問して話を伺います。お手伝いできるサービスについて説明をし、利用申し込み、支援計画の作成、契約という流れになります。まずはお気軽にご連絡ください。

空き家管理住まいるサービス

嘉麻市内で、敷地内に生い茂った草がそのままになっていた、ポストに郵便物がいっぱい溜まっている家を見かけることがあります。空き家は管理が十分でなければ、所有者の方にとっては心配の種となり、ご近所の方にとっては日常生活にも影響が出てきます。

嘉麻市社会福祉協議会では、市内の空き家を適切に管理していくことで、皆さんに安心をお届けする「空き家管理住まいるサービス」を実施しています。

嘉麻市内にある空き家の管理でお悩みの方は、ぜひご利用ください。不明な点がございましたらお気軽に下記までお問い合わせください。

記

(対象家屋)

市内にある、本人、配偶者、子または本人の父母にいずれかが所有者となっている家屋。※公営住宅や賃貸、事業所等の商用物件は除きます。

(利用できる方)

以下の理由で家屋の管理ができない方

- ①県外市外に住んでいるため ②長期出張、転勤となったため
- ③入院、施設入所等となったため

※利用にあたっては、嘉麻市社協の会員(年額1,000円)にご加入いただきます。

(サービスの内容と料金)

- ・基本サービス(月1回)
通風、通水、内部・外部のチェックなど 利用料3,000円/月
※毎月サービス実施後に、写真付きの報告書を郵送します。
※台風や大雨などの有事の前後には巡回して状況を確認し、異状があれば、連絡いたします。
- ・オプションサービス(掃除、庭の草刈り、剪定、近隣訪問など)
※内容によって、金額が異なります。事前に見積もりを行います。

《お問い合わせ先》

嘉麻市社会福祉協議会 ☎0948-42-0751

山田ふれあいハウスからのお知らせ

囲碁大会参加者募集

- 場 所** 山田ふれあいハウスホール
- 日 時** 平成28年10月8日(土) 9時から15時30分まで
- 対局形式** 変則リーグ戦で、対局は4回戦とします。また、対局時間は1時間以内とし、目数で勝敗を決定しますが、20目以上は中押勝ちとします。なお、段級によってハンディを付けます。
- 参加費** 500円(昼食代は含まない)
- 参加定員** 12名(先着順)
- 募集期間** 平成28年9月15日(木)から9月30日(金)まで
- 申込方法** 電話、または窓口でも受け付け致します。

子育てリユースセンター

衣替えの時期となりました。子育てリユースセンターでは秋冬物衣類へ入れ替えを行っています。ご家庭で使わなくなった洋服やマフラー、手袋などがありましたら、ご協力お願い致します。

申し込み・問い合わせ先 山田ふれあいハウス 嘉麻市上山田502番地6

☎0948-52-1847

成年後見Q&A



成年後見の申立て後家庭裁判所から後見督人をつけられることがあります。後見監督とはなんですか？



後見監督とは、後見人を監督し、後見人と被後見人との利益が相反する場合に被後見人の代表をする人のことをいいます。成年後見人は、申立てのきっかけになったことだけをすればよいものではなく、後見が終了するまで、行った職務内容を定期的に家庭裁判所に報告しなければなりません。そのため、事案によっては、家庭裁判所が弁護士や司法書士などの専門職を後見監督人に選任し、監督事務を行う場合があります。



かま ボランティア 市民活動センター情報

南阿蘇村立野地区で ボランティア活動



受付をするボランティアの皆さん

南阿蘇村の立野地区は、今回の地震で大きな被害を受けた地区の一つです。6月20日には激しい雨が降り、地震によって緩んでいた地盤が崩れて、地区内のいたるところで土砂災害が発生しました。そのため、発災以降行われていたボランティア活動も道路状況や安全性を確保できないことから中断せざるを得ず、手つかずの状態となっている家屋がたくさんありました。7月23日から週に2、3日程度、ボランティアさんの受け入れを再開しました。しかし、活動希望者は必要とされる人数より少ないことから、本会に登録されている個人ボランティアさんに呼びかけ、7月23日と30日、8月20日の3日間、延べ15名の方が土砂の撤去や処分、家財道具の分別、運搬、撤去の活動を行いました。



水分を含んだ重い土砂を運び出していました。

当日は30℃を超えるとても暑い中で、作業であったため、熱中症などの体調管理に注意を払い、お互いに声を掛け合いながら作業を進めました。参加されたボランティアさんは、「テレビでは見えて被害の凄さに驚いた。まだまだ長期的な関わりが必要だと感じた。今後でもできるだけ都合をつけて活動に参加したい」と話されていました。

ボランティア・イベント情報

☆赤い羽根共同募金

街頭募金ボランティア☆

10月1日(土)から赤い羽根共同募金運動がスタートします。

10月4日(火)までの4日間は、市内のスーパーやコンビニエンスストア等で街頭募金を実施する予定です。一緒に街頭に立ち、募金を呼び掛けていただけるボランティアを募集します。ぜひご協力ください。

活動日時 平成28年10月1日(土)～10月4日(火)
午前:10:30～13:00
午後:15:30～18:00
※活動時間については、2時間程度です。
時間帯については実施場所により異なります。

実施場所 市内のスーパー及びコンビニエンスストア等

募集人数 50名程度

イベント情報

☆ふれあいまつり☆

サンコーケアライフ主催、恒例の「ふれあいまつり」です。

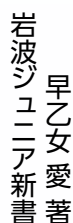
今年のテーマは「出会いと感謝in秋祭り」！
舞台での催し物・露店・ゲームコーナー・入居者の方々の作品展示・バザーコーナー、舞台にはかましちゃんも出演予定です。

地域の皆様楽しんでいただきたいと思います、企画しました。

ぜひ、ふれあいまつりにご来場ください。

開催日時 平成28年10月8日(土)
11時30分～13時00分
開催場所 ライフステイいなつき駐車場
(嘉麻市鴨生94-19)

海に沈んだ対馬丸
子どもたちの沖縄戦



に学童疎開をしようとした子どもたちを起こったことが鮮明に描かれています。疎開とは、戦争の被害をさけるために、安全な場所に移住させることで、高齢な方、子ども、女性が主な対象でした。子どもたちが疎開することは『学童疎開』と呼ばれ、アメリカ軍の沖縄上陸に備えたものでした。

1944年8月22日、沖縄県那覇港を発った学童疎開船『対馬丸』は、アメリカ軍潜水艦の攻撃を受けてわずか12分で沈没し、1418名の犠牲者が出ました。そのうち、775名が今という小学1年生から中学2年生までの子どもたちでした。

爆撃による激痛の様子、沈没後に次々と浮かび上がる死体、その後の何日にもわたる漂流生活など、対馬丸に乗った子どもたちがどのように生き、死んでいったのかが生存者の証言や残された記録から記されています。

Aさんから、「沖縄はずっと訴えているんだよ。やっとその声を聴いてくれる人が増えてきた。20年かかったよ、これからだ」と言われたことを思い出しました。

平和が脅かされると、弱い立場の方の大切な命が否応なく犠牲になります。そのことを改めて考えることになった一冊でした。

(木原)

法律相談

13:00~16:00

ところ：山田ふれあいハウス

13:00~16:00

ところ：稲築住民センター

※法律相談は予約が必要です。先着順となっていますので、お早目にお申し込みください。

心配ごとと相談

13:00~15:00

13:00~15:00

ところ：稲築住民センター

※心配ごと相談の会場はいずれも
稲築住民センターです。

11 下の写真は、昭和
 年頃の臼井駅を
 した。この駅から出る汽
 車、運んでいたの
 は、石炭だけであ
 り、昭和30年
 代には、1日に3千
 炭機と石炭積み込み
 場が、設けられていた
 ほかに、平山炭鉱や昭
 嘉炭、平山炭鉱で
 製炭されたものを蒸
 気機関車で運ぶ大き
 な役割を担っていた
 した。

人 以上の方がこの駅
を 通勤や通学などに
利 用していたそうで
す。碓井地区新道行
政 区長の坂口勲さん
は、16歳から吉隈炭
鉱で坑内のガス量を
測る仕事などをされ
ており、飯塚方面に
出掛ける時に臼井駅
を よく利用していた
そうで、「駅の周り
や駅通里にはたくさ
んの個人商店や飲み
屋などが軒を連ねて
いて賑やかだったよ
」と活気に溢れた町だ
ったことを教えてく
ださいました。



炭鉱の記憶

No.114

麻生吉隈炭鋤
(桂川町・昭和初期)

当時の桂川町吉隈から碓井村にかけては麻生商店所有の炭鉱だった。筑豊本線臼井駅前に選炭機と石炭積み込み場を設けていた。



香典返し
・
寄附

7月1日～7月31日受付分

●香典返し

[illegible][illegible]

●寄附



【嘉麻市】
親族 武田 千香代 様
故 武田 章 様
【一般寄付】
嘉穂の名水愛好者一同 様

【子育てリユース】

山野第一	永富圭子	様
山野第二	横山貴代美	様
樋渡	東小野祐子	様
三日町	石井美由紀	様
椎木	斉藤ますみ	様
飯塚市	樋口ますみ	様
桂川町	永田有香	様
〔アルミ缶〕		
漆生本村	匿名名	様
漆生中央	田中茶舗	様
漆生南部	岩田勇治	様
漆生南部	西田幸子	様
鴨生第一	伊藤喜代益	様
漆生東	匿名名	様
六四田	松田敏雄	様
百々谷	吉元悦子	様
百々谷	橋本利根	様
神幸	松岡敦子	様
西川	井上千代子	様
木城	笹尾航希	様
中央	明石睦則	様
猪之鼻	菊池春政	様
中山田上	吉永政雄	様
立石	矢野千恵	様
上西郷	山口春雄	様
芥田	大野スマ子	様
嘉麻市商工会		様
鴨生第一行政区		様
石ヶ崎シニアクラブ		様

※エンディング
ノートをご希望
の方は進呈いた
します。ご遠慮
なくお申しつけ
下さい。



嘉麻市下山田9-1 ☎ (0948) 52-1212

指定葬祭場紹介

セレモニーホール おおつか

嘉麻市社会福祉協議会指定葬祭場は、セレモニーホールおおつかを含め、市内に8ヶ所あります。

かほ葬祭 あじさい会館	☎62-5566	きど葬祭やまさ碓井斎場	☎62-4499
善光会館 稲築会場	☎83-5000	ひさつね会館	☎52-0758
おかむら葬祭岡村会館	☎42-4420	いすや会館	☎57-4444
飛鳥会館 南斎場	☎42-4241		

「リングプル」

漆生中央 森川 幸子 様
六四田 松田 敏雄 様
百々谷 井上 弥生 様
猪之鼻 菊池 春政 様
猪之鼻 小埜 英夫 様
下牛隈 様

(有)小西モータース様

市内 匿 名 様

山野第一サロン 様

嘉麻市商工会 様

つばさ学園 様

グリーンエコ班 様

長円寺仏教婦人会 様

石ヶ崎シニアクラブ 様

「古切手」

漆生本村 野見山靖子 様

鴨生第一 匿 名 様

鴨生第一 伊藤喜代益 様

おかむら葬祭 様

教育ナビゲーション(株) 様

「アルミ」

古河 塚原 京子 様

義援金をお寄せいただき、
ありがとうございます

平成28年熊本地震により被害を受けた方々を支援するため、義援金をお寄せいただいています。
誠にありがとうございます。

7月1日～7月31日受付分

介護老人保健施設

シルバーケア嘉穂 様

あなたの会費が、
社協の地域活動を
支えています

会員として、次の方々に

ご加入いただきました。

(敬称を省略させていただきます。)

(順不同で掲載しています。)

7月1日～7月31日受付分

〈漆生本村〉深川慶子(五〇)、深川拓也(五〇)、西條奈保美、西條保憲

〈漆生中央〉漆生中央8組(三〇)

〈平第一〉山下武利(二〇)、田口正志、藤田義人、大和義一、西田道子、永水寿徳、森山肇、西田剛、大山松雄、増田よしえ、松本俊治、白土良一、西田公一郎、永水泰典、西田明、佐伯純子、平井むつ子、森山祥弘、野村京子、永水政子、西田健、野田工三子、越智初、深見隆行、松本明美、佐竹吉實、高田久志、馬田忠義、平祥司、大山忠男、眞杉チツル、西田静、松下正良、白土恵一、西田恒義、梶原輝雄、西田久利、永水計親、永水博、本田健次、小林英治、永水正博、西田家理、西田武次、永水民生、永水幸

子、永水美法、永水雅史、藤原光一、中野君子、西田寛信、西田義勝、林トシ子、藤崎正昭、篠森鹿夫、野見山昱子、阿部敏子、岡村勝子、西田俊夫、小峠フサエ、西田穫次、横山秀雄、林繁樹、清家正章、大久保久子、田中道子
〈平第二〉山崎めい子、村岡隆志、佐藤一美、松本三枝子、大友友就、沖年幸、上村忠達、福田敏幸、宮本敏夫、柿原幸枝、中島吉則、川端マサコ、香月義一、今泉進、大山征男、山本康治、西村光昭、竹村恵美子、清川栄、大田宗嗣、東川文子、西田美智子、武田憲児、西坂勝正、岩橋トシ子、今村久子、加来良子、渡辺富美子、桐原理枝、松本芳明、宮内佐恵子、平田品子、坂田公一、西田安之助、西田雅範、坂田清子、手島ミヤノ、岩崎哲夫、山平由美、西田義明、宮崎紀久子、田村テル子、篠崎良輝、陶山茂、大庭淑子、中村朋子、砂浪喜信、竹川富士松、加地タクシ、松熊勇夫、岸昌幸、花田匡哉、地藏原満隆、駒山登志子、富山澄等、辛島貴嗣、西野はつ江、松熊タケ子、野川勝博、日田キヌ子、松岡俊秀、井下雄次、松本信子、西村富士子、大園節子、山室伸次、野口明

美、金国大介、手柴敏幸、伊藤英丞、嶋田浩二、三宅末子、田中裕士、島田鉦一、曾我健太、大城淑子、川根敬子、橋本隆、倉智康治、山口末美

〈漆生老松〉平位晴子

〈熊ヶ畑第三〉大田とし子、平嶋勉、大田英次、中原英洋、野尻六直生、田中芳浩、中村初雄、平嶋善和、岩崎キミ子、吉田レイ子、大田悟、福岡重人、平嶋登、大田一利、儀間真隆、坂口勝幸、渡辺るみ子、平嶋モト、平嶋利勝、平嶋登、平嶋利喜松、平嶋奏、平嶋勝、平嶋宏行、平嶋信美、平嶋和明、平嶋和範、筒丸ツナ子、平嶋和久、平嶋狷介

〈百々谷〉篠原喜代子、児玉孝幸、村上ユキ子、毛利栄子、長田京子、長田勝、中園晴美、中園千歳、武本ハル工、児玉ふみ子、龍恒子、西村久美子、西村信也、田中清美、日野和義、古賀マサ子、小田博幸、西芳子、龍美恵子、鬼塚繁、畑迫豊江、中川ミネ子

〈尾浦第一〉吉丸モモエ

〈尾浦第二〉吉丸公隆、吉丸慎也

〈木城〉松岡孝司、田中ミチ子、樋口龍生、田辺スミエ、佐々木チドリ(二〇)、石原口節子、梶原セキ子、岩見由紀子、長岡峰

雄、江藤ヒサエ、大塚静、且元ミヨ子、有山和子、竹中ミツ子、大塚憲治、蒲原トモ、田中玲子、美林孝勝、林田正敏、大里景子、梅林英夫、藤嶋泰仁、岸川太美峰、小島律子、中川尋章、中野勝哉、山本賀世子、重松紀久子、日高文雄、和田照代、宮本秀喜、岡本國夫、藤井逸志、井上達雄、山田昌郎、松尾明江、大津雅郁
〈猪之鼻〉明石明俊、坂本ヒデヲ、江藤ヒサ子、本間栄慈、小埜英夫、川崎満里子、熊谷キミ工、明石征三、久恒道臣、菊地春政、渋谷道代、縄田順子、早川進、梅野明、大和義子、浦田敏幸、坂本紀子、吉竹孝二、西野正則、小田勲、明石千恵子、加茂民雄、藤井日出子、野北栄子、浅田和敏、丸山勝、原田寅雄、原田智子
〈ゆうひが丘〉阪下理恵子
〈立石〉大塚正近、山口松枝、有吉三郎、府川豊、矢野久紀
〈上牛隈〉小野智二
〈下牛隈〉熊本正夫



ふふふとへの手紙

No.127



糟屋郡長者原在住
山下 和美さん (母 フクエさん)
(上山田出身)

母とわたしのふるさと

大阪で生まれて3年経った後、母の生まれ育った旧上山田市での暮らしが始まりました。

私が福岡へ出るまでの27年間、途中の寮生活を除いても、尾浦・本町・天神・大橋と狭い範囲で引越しを繰り返しながら過ごした場所は、たとえ生まれたところでなくとも、私にとっては大切なふるさとになりました。

蒸気機関車の煙の臭い、ボタ山の風景、お祇園さんの獅子舞、柿ノ木橋から見ていた山田川、上山田小学校の運動場の石段、山田北中学校の中央階段、山田高校の売店にいた眉毛を描かれた猫。最近の記憶は甚だ怪しくなりつつあるのに、思い出す努力をしなければ、思いつく風景に、まるでタイムス

リップでもしたような気分です。

私の生活の都合で、母までもふるさとから離れたこの町に連れてきてしまいました。この投稿のお話をいただいで、ひとしきり母との会話に花が咲きました。まるで『回想法』を実践する親子。母にしか分からないこともありましたが「そうやったねえ」「いやいや、こげんやっただろ」と言いつつ、辛う辛うと悲しいことも確かにあったはずなのに、ふと気づくとほのぼのと笑えるできごとの方が多くなって、それがふるさとという所以なのかなと思ったりもします。

過疎化が進んでさびしい街になったと耳にすることもありますが。反面、若い世代がいます。今の世の中、どこに住んでもそう変わりはないと感じます。ただひとつ違っているのは、山田が母と私のふるさとであり、時々訪ねて行く顔しながらも「来たね！元気をがんばりよるね」と声をかけてくれる、近所のおじちゃん・おばちゃんのような温かさでいてくれるというところとです。どうかいつまでもお元気で、遠くでがんばっている私たち親子を見守ってください。

編集後記



(きはら)

今月の一冊では、太平洋戦争中に、沖縄から九州に疎開する子どもたちを乗せた学童疎開船「対馬丸」のことが書かれている本を紹介しています。戦争と子ども、遠いように見えてとても近い存在だと感じました。



(みぞくち)

『今月のえがお』では、協議体の勉強会の際に取材に応じてもらいました。よく息子さんと参加されていて、笑顔がとっても素敵なのでお話を伺ったのですが、私もパワーをもらい、ぜひ紹介したいと思いました☆



(たけがわ)

ボランティアさんと共に立野地区で活動しました。意見を話し合っ作業工程を決め、問題があれば見直ししながら活動する中で、意思の疎通をしっかりとることが大切だということを知りました。



(おがわ)

竹田市の取り組みや南阿蘇村ボランティアセンターでは、たくさんの人と繋がる支え合いの仕組みづくりを学びました。これからの、地域活動にいかしていきたいと思います。



(あかま)

認知症家族の集いの第一回目に参加させていただきました。認知症に関する意見交換を行い私自身とても勉強になることばかりでした。まだ、始まったばかりですので皆さんと一緒に考えながらやっていけたらいいなと思います。



(ますぎ)

フリースペースの活動では初めての外出を行い、清浄学園を見学しました。施設の説明を受けた後にカラオケをしました。人前で歌うことが苦手な方もいましたが、一緒に歌を聞くなどして、みんなで楽しく過ごすことができました。



(とくなが)

今回の協議体の勉強会は、初めての地区会でした。それぞれの地区で参加されたみなさんと、地域にある資源や課題などを共有できた時間でした。今回のような地区ごとの会が、協議体につながっていけばいいなと思います。

社協だよりクイズ

「広報紙えがお」を読んで、次のクイズにお答えください。正解者の中から抽選で2名の方に、図書券(千円分)をプレゼントします。

問題

第5回協議体勉強会は、何をまとめることがテーマだったでしょうか。

- (1) 観光地
- (2) 地域の資源
- (3) お祭り

● 応募方法

- ①クイズの答え、②広報紙の感想、③郵便番号・住所、④氏名、⑤年齢、⑥電話番号をご記入の上、9月30日(必着)までにハガキ、またはEメールにてご応募ください。

● 送付先

〒820-0205 嘉麻市岩崎1143番地3
嘉麻市社会福祉協議会 E-mail: tiiki@kama.syakyo.com

● 前号のクイズの答え (1)

地域全体で盆踊り大会を開催できたらいいねという意見ができました。

● 応募のあった方から社協だよりの感想をいただきましたので、紹介します。

- ・ふるさとへの手紙、楽しく拝見しました。昭和の時代の状況がよく描き出されて、昔が懐かしく感じられました。
- ・上山田の清水写真館の元店主さんが、すごい記録を持ったスポーツマンだとは感激しました。
- ・表紙の方々の笑顔がすごくよかったです。

※当選者の発表は発送をもって代えさせていただきます。